

NPO 法人空港に於ける RFID 技術普及促進連絡会  
NPO Airport RFID Technology Alliance (ARTA)

2021 年度 通期事業報告  
(概要版)

2022 年 6 月

ARTA 事務局

## 目 次

1. 一般報告
  - (1) 会員の状況
  - (2) 役員等
  - (3) 会の運営
  
2. 活動報告
  - (1) IATA 関連
  - (2) 中部国際空港到着手荷物 UVC 除菌及び 3 密対策システム 2 次試験
  - (3) 空港に於ける UVC 除菌及び 3 密対策システム実証試験\_総括報告書
  - (4) 航空旅客手荷物処理能力強化(オフエアポートチェックイン導入)に向けた検討調査
  - (5) その他
  
3. 2021 年度収支報告(2021.4.1－2022.3.31)
  
- 添付資料 (詳細版参照)
  - (1) 会員リスト(2021.3.31 版)
  - (2) 第 11 回通常総会議事録・状況報告会資料
  - (3) IATA BWG47 及び Baggage Operations and Processes (BOP) SWG 会議 資料
  - (4) 購入図書 IATA PSCM41th
  - (5) 中部国際空港到着手荷物 UVC 除菌及び 3 密対策システム 2 次試験計画概要書
  - (6) 空港に於ける UVC 除菌及び 3 密対策システム実証試験\_総括報告書
  - (7) 航空旅客手荷物処理能力強化(オフエアポートチェックイン導入)に向けた検討調査 概要資料
  - (8) 2021 年度収支報告書(2021.4.1－2022.3.31)

## 1. 一般報告

### (1) 会員の状況

会員数 2022年3月31日現在  
団体会員 17社  
個人会員 3名  
特別会員 1社

団体会員 (会員リスト記載順)  
(株)エージーピー  
(株)デンソーウェーブ  
トーヨーカネツ(株)  
日本信号(株)  
三機工業(株)  
凸版印刷(株)  
ジック(株)  
佐川印刷(株)  
OKOBAN S.A.  
ナクシス(株)  
日本電気(株)  
(株)三景  
エイブリィ・デニソン・ジャパン(株)  
トッパン・フォームズ(株)  
ビジョン ボックス ジャパン  
アライゾンジャパン(株)  
(株)セイコードー

個人会員  
井上 麻衣  
石島 幸子  
渡辺 淳

特別会員  
埼玉大学 長谷川研究室・間邊研究室

### (2) 役員等

会長	水野 一男	東京大学大学院
理事	小澤 昭夫	トーヨーカネツソリューションズ(株)
	波多野 啓介	OKOBAN S.A.
	出口 英雄	(株)エージーピー
監事	北村 剛一	三機工業(株)
顧問	岩崎 俊一	(一社) 空港振興・環境整備支援機構 副理事長 元 国土交通省航空局次長
	長谷川 孝明	埼玉大学教授
	荒尾 和史	前 中部国際空港(株)顧問
	小林 勝春	(株)エージーピー 担当部長
	福田 朗	前 ARTA 会長

### (3)会の運営

以下の通常総会及び状況報告会を開催し、会の運営について協議を行った。

・2021年6月24日 第11回通常総会・状況報告会

## 2. 活動報告

### (1)IATA 関連

#### ①第47回 Baggage Working Group 会議

2021年4月29日 web で開催された。

波多野理事が参加。

#### 【波多野理事所感】

IATA 内のリストラで、手荷物チームの所管がジュネーブからモントリオールに移管されたことにより前任のチームは退職し、BWG は新たな責任者 (Haase Joergensen) が引き継ぐことになった。Haase はもともと Fast Travel を担当していたことから、今回の BWG はそれを色濃く反映したものとなった。ただし、本人も Senior Manager Global Baggage Operations を拝命したので、今後

- ・Contactless Baggage Processing – Door to door delivery and Off-Airport
  - ・Modern Baggage Messaging (XML)
  - ・Supporting technologies such as the Electronic Bag Tag (EBT) and the Permanent Bag Tag (PBT)
  - ・Baggage tracking (Resolution 753 and RFID RP1740c)
- を推進して行くと表明している。

他方、Covid-19 の影響から、IATA 内でも課題の優先順位が変わっており、まずは、Covid-19 の影響が出ているものの解決が優先されている。そして、その中核となるのが BOP となる模様。

初回の BOP は 5 月 4 日 (日本時間夜) に開催された。(②参照)

#### ②Baggage Operations and Processes (BOP) SWG 会議

2021年5月4日 web で開催された。

波多野理事が参加。

#### 【波多野理事所感】

会議は Microsoft Teams を使用し行われたが、参加者多数の BWG と異なり、SWG では個人の特定も容易であり、必要に応じビデオも ON とした。BWG の新たな責任者 (Haase Joergensen) が引き継ぐことになったが、BWG 同様、A/L からの議長、副議長は選任せず、Haase が進行を務めた。

BWG からの流れで、Covid-19 の影響から、IATA 内でも課題の優先順位が変わっており、まずは、Covid-19 の影響が出ているものの解決が優先されている。そして、その中核となるのが BOP となる模様。今後、オフエアポートチェックイン案件を中心にタスクフォースに参加する予定。

#### ③IATA 図書購入

・Passenger Standards Conference Manual 41 版 (PSCM)

Effective 1 June 2021 – 31 May 2022

データ版購入(1user)

以下の規定をハードコピーし内部資料として ARTA 内共有した。

– IATA PSCRM40th\_RP1740c RFID Specifications for Interline Baggage

### (2)中部国際空港到着手荷物 UVC 除菌及び 3 密対策システム 2 次試験

到着手荷物返却エリアでの 3 密回避を可能とする手荷物返却情報提供システムに関し、2020年10月14日から11月6日に実施した「空港に於ける UVC 除菌実用化検討・先導実証試験プロジェクト」で得られた課題を改善し 2 次試験を行い完成度をさ

らに高め、各空港に於ける早期のシステム導入を促すことにより国際線路線の早期の需要回復に貢献することを目的とし、ARTA が主催し、中部国際空港にて実施した。

【実証試験実施期間】

2021.3.15～2021.9.26

検討対象：国際線到着預託手荷物。

【試験場所】

中部国際空港第 1 ターミナル国際線エリア \* 制限エリアを含む。

【プロジェクトメンバー】

プロジェクト参画各社負担にて実施

- ・主催 NPO 法人空港に於ける RFID 技術普及促進連絡会
- ・RFID 機器メーカー ジック
- ・RFID メーカー デルタ航空手荷物タグ RFID を対象とする
- ・情報提供アプリ 埼玉大学
- ・システム保守メンテ エージーピー
- ・UVC 機器メーカー 岩崎電気
- ・試験協力 中部国際空港(試験フィールド提供、UVC 照射試験対応)  
中部国際空港施設サービス  
トーヨーカネツ(コンベア改修部品納入)

(3) 空港に於ける UVC 除菌及び 3 密対策システム実証試験\_総括報告書

- ・空港に於ける UVC 除菌実用化検討・先導実証試験(2020.10.14～2020.11.6)
- ・関西国際空港カート UVC 除菌装置運用 2 次試験(2020.12.11～2021.3.31)
- ・中部国際空港到着手荷物 UVC 除菌及び 3 密対策システム 2 次試験(2021.3.15～2021.9.26)

の総括報告書をとりとまとめた。

空港に於ける到着手荷物のコロナ対応策除菌実用化モデルとして構築した、「到着手荷物 UVC 除菌装置⇒到着手荷物返却エリアでの 3 密回避を可能とする手荷物返却情報提供システム⇒手荷物カート UVC 除菌装置⇒手荷物カート除菌履歴情報提供システム」の一連の試験を総括した報告書である。

【実証試験実施期間】

2020.10.14～2021.9.26

検討対象：国際線到着預託手荷物、手荷物カート

【試験場所】

中部国際空港第 1 ターミナル国際線エリア \* 制限エリアを含む。

関西国際空港第 1 ターミナル2F 国内線チェックインロビー

【プロジェクトメンバー】

プロジェクト参画各社負担にて実施

- ・主催 NPO 法人空港に於ける RFID 技術普及促進連絡会
- ・RFID 機器メーカー ジック、デンソーウェーブ
- ・RFID メーカー (手荷物タグ)  
デルタ航空手荷物タグ RFID を読取  
(手荷物カート)  
トッパン・フォームズ、三景、ナクシス、  
エブリィ・デニソン・ジャパン(UVC 照射試験対応のみ)
- ・情報提供アプリ 埼玉大学、OKOBAN.S.A
- ・システム保守メンテ エージーピー
- ・UVC 機器メーカー 岩崎電気 (カート、手荷物搬送ライン)
- ・試験協力 中部国際空港(試験フィールド提供、UVC 照射試験対応)  
中部国際空港施設サービス  
関西エアポート(KIX 試験主催及びフィールド提供、UVC 照射試験対応)

関西エアポートオペレーションサービス(カート除菌運用)  
K スカイ(JAL)(車いす、ベビーカー除菌運用)  
ANA 関西空港(車いす、ベビーカー除菌運用)  
成田国際空港(UVC 照射試験対応)  
トヨーカネツ(UVC 照射試験対応、コンベア改修部品納入)

【システム評価】

東京大学

【特別参加】 プロジェクトメンバー外

SANYCAR (中部空港一次試験セキュリティトレイ UVC 除菌装置)

(4) 航空旅客手荷物処理能力強化(オフエアポートチェックイン導入)に向けた検討調査

国土交通省航空局公募案件「航空旅客手荷物処理能力強化(オフエアポートチェックイン導入)に向けた検討調査」に ARTA として入札。落札し、実施した。

・実施期間 2021.9.16～2022.2.28

・検討調査項目

- 1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で実施予定のオフエアポートチェックインの実態調査
- 2) 諸外国のオフエアポートチェックインの事例調査
- 3) 訪日外国人旅行者の国内周遊傾向分析
- 4) オフエアポートチェックインの国内空港への導入検討調査

・検討調査メンバー

1) ARTA メンバー

事務局、渡辺(淳)、井上麻衣

2) 再委託先メンバー

全日本空輸 空港サポート室担当者

中部国際空港 空港運用部担当者

名古屋鉄道 名駅再開発推進室担当者

・受託額 7,370,000 円(税込)

(5) その他 (事務局対応)

- ・千葉県 NPO 法人室、県税事務所及び成田市役所へ、2020 年度事業報告書等を提出し受理された。
- ・千葉地方法務局本局へ、理事の変更(重任)の登記届けを提出し受理された。
- ・成田市役所へ、2020 年度法人税減免申請を行い受理された(県税事務所は法人税減免申請免除となった)。

3. 2021 年度 (2021.4.1－2022.3.31) 収支報告 (添付資料(7)参照)

(2022.3.31 時点)

	合計金額	内 訳		備 考
収 入	10,273,712 円	会費	1,860,000 円	1 社未納(来期まとめて納入)
		銀行利息	12 円	
		2020 年度繰越金	1,043,700 円	
		その他収入	7,370,000 円	「その他収入内訳」参照
支 出	5,129,099 円	支払手数料	24,640 円	
		通信費	289,445 円	電話、インターネット、郵送等
		保守・修繕費	0 円	
		事務用品費	11,331 円	ファイル、コピー用紙
		備品購入費	0 円	
		消耗品費	21,140 円	プリンタインクカートリッジ
		交通費	0 円	
		雑費	96,317 円	名刺、祝花、他
		その他支払	4,686,226 円	「その他支払内訳」参照
		残 額	5,144,613 円	-

■「その他収入」内訳

	合計金額	その他収入内訳		備 考
その他収入 内訳	7,370,000 円	NPO 事業収入	7,370,000 円	航空旅客手荷物処理能力強化(オフエアポートチェックイン導入)に向けた検討調査

■「その他支出」内訳

	合計金額	その他支払内訳		備 考
その他支払 内訳	4,686,226 円	関西国際空港カート UVC 除菌装置運用 2 次試験	32,120 円	モバイルルーターレンタル代
		中部国際空港到着手荷物 UVC 除菌及び 3 密対策システム 2 次試験	95,480 円	現場対応費用
		航空旅客手荷物処理能力強化(オフエアポートチェックイン導入)に向けた検討調査	3,209,060 円	業務対応費用一式
		IATA 関連図書購入	92,702 円	PSCM2021(41th) (1 ユーザー版)
		2020 年度分 ARTA 出納帳作成業務	440,000 円	2021 年 3・4 月分
		泉田裕彦君と語る会会費	20,000 円	
		営業活動費	1,126,864 円	内 658,477 円は「航空旅客手荷物処理能力強化(オフエアポートチェックイン導入)に向けた検討調査」対応費用

残額 5,144,613 円は 2022 年度活動費へ繰越とする。